

ABC Image Viewer

Artbrain Communication

始めにお読み下さい

この度は ABC Image Viewer の Download ありがとうございました。

このソフトは各種画像ファイルの閲覧や編集が出来るだけでなく指定フォルダー内に有るお好みのファイルをお好みの順番でスライドショーとして第三者に配布出来る機能も持ち合わせています。スライドショーにはテキストや音声も組み込める仕組みでデジタルカメラなどで撮影したデーターを別の場所で簡単に見る事が出来ます。

動作環境

動作 OS Windows98 以降 windows 2000 Windows XP

CPU Celeron 700Mhz 以上 Pentium4 を推奨。

Memory 256Mbyte 以上を推奨

注意事項

本ソフトは現在の所はフリーウェアとしていますが後にはシェアウェア登録する予定です。著作権は山崎茂樹に有ります。

当ソフトの転載時や第三者への譲渡には予めのご連絡をお願いいたします。

バグなどにお気付きの方はメール戴けると有り難いです。

免責事項

本ソフトウェアの使用によってお客様または第三者に発生したいかなる直接的、間接的な損害に対しても、当社および DLL の作者・著作権者は一切責任を負わないものとします。当社および DLL の作者・著作権者が、たとえこのような可能性について事前に知り得た場合でも同様です。

アートブレイン 山崎 茂樹

E-Mail : yamasaki@gear.co.jp

HomePage : <http://gear.co.jp>

インストール

本アプリケーションは ZIP ファイルで配布されています。ダウンロードしたファイルを解凍するには各種解凍ソフトが必要です。

解凍後は右図の様なフォルダーが作成されますので “SETUP.EXE” をダブルクリックしてインストーラを立ち上げて下さい。



後はインストーラの指示に従って任意の場所に本ソフトをインストールして下さい。

起動

Windows のスタートメニューから “Abc Image Viewer” を選択して下さい。

＜ メイン画面 ＞

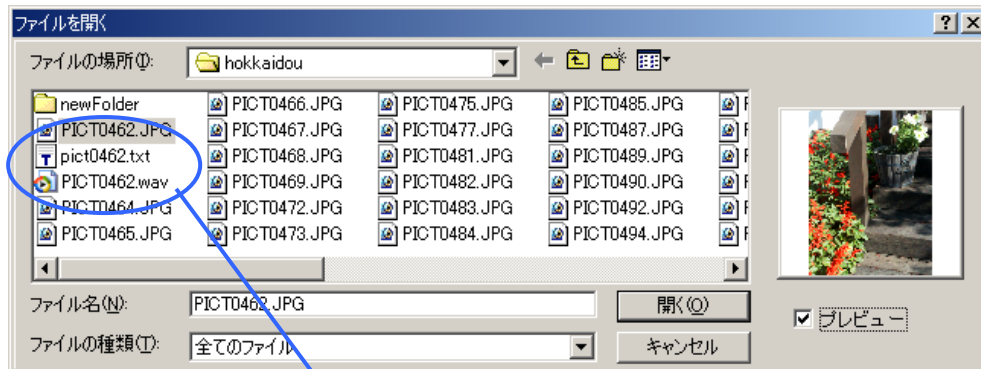


メイン画面は左のファイル操作コントロール部分と右の画像コントロール部分のスイッチで構成されています。

ファイルの表示・保存

ファイルを
開く

ファイルを開くボタンで画像ファイルをメイン画面に表示出来ます。
扱えるファイルは(JPG)(BMP)(TIF)(PNG)です。



ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが現れます。
任意のファイルを選んで下さい。



保存する

ファイルを開く場合と同様にファイルの保存が出来ます。
扱えるファイルも同じですが”JPG”保存する場合にはオプションの設定が必要です。

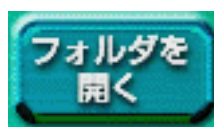


(JPEG ファイルで保存する場合)

圧縮率の設定をする必要があります。

数値が大きければ画像の荒れは少ないですが圧縮率は少なくなります。オプションボタンで選択するか下のスライダーで任意の数値に設定して下さい。デフォルトでは”60”に設定してあります。

またプログレッシブ JPEG で保存するとホームページでその画像を表示する場合に徐々に現れてくる効果を得る事が出来ます。

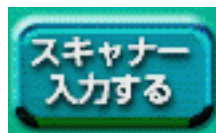


単体のファイルではなくフォルダー内の画像ファイルのサムネールを全て表示します。



サムネール作成のフォルダー選択パネルが開きますので任意のフォルダーを選んで”サムネール作成”をクリックして下さい。

選択されたフォルダー内に有る読み込み可能なファイルが表示されます。サムネールをクリックする事でメイン画面に画像を表示することが出来ます。



Twain 接続されたスキャナから画像を取り込み表示する事が出来ます。



スキャナを選択で接続しているスキャナを選んで下さい。ここに機種が出ない場合は直接スキャナから画像を取り込む事は出来ません。

ファイルの編集・出力

メイン画面の右側には表示されたファイルの情報や見え方を変えたり大きさを変えたりするコントロールが並んでいます。またスライドショーの設定やプリントアウトのコントロールもここに含まれています。



ファイル情報表示ボタン

画像の情報や付加するキャプションや音声を編集出来ます。

表示設定ボタン

メイン画面の表示方法を設定したりトリミングをする事が出来ます。

解像度変更ボタン

画像の大きさや解像度を変更する事が出来ます。

画像調整ボタン

画像の明るさなどの調整と回転をする事が出来ます。

スライドショーボタン

フォルダーを選んでのスライドショーと配布用のスライドショーの作成が出来ます。

プリントボタン

メイン画面に表示している画像をプリント出来ます。



ファイル情報表示



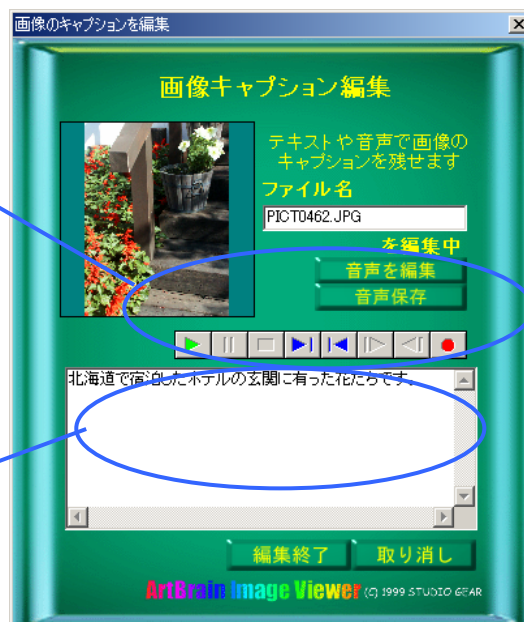
メイン画面に表示されている画像の情報が表示されます。

大きさの表示はプリンター(360dpi)と画面(72dpi)とカスタムに変更出来ます。

表示されている画像に Text のキャプションやナレーションの wave ファイルを付ける事が出来ます。そのファイルは同じ名前で同一階層に保存され本アプリケーション付属のスライドショーで画像と同時に表示再生されます。

PC に接続されたマイクで画像のナレーションを録音出来ます。すでに WAV ファイルが有る場合は確認が出来ます。

画像のキャプションを入力出来ます。すでにキャプションがあればそれを編集出来ます。

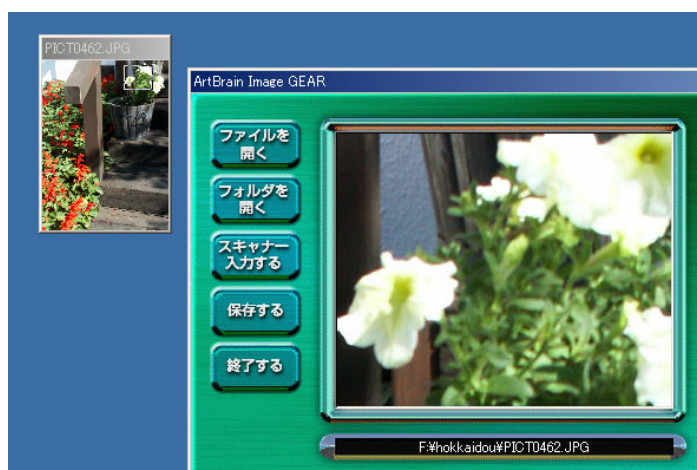




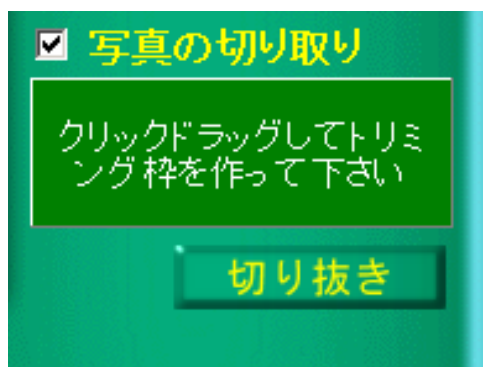
画面表示設定



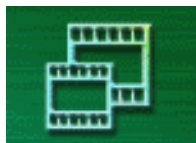
メイン画面のファイルの表示方法を設定します。
デフォルトは表示サイズに合わせています。



サイズを変えるオプションを選ぶと自動的に実サイズの表示に変わります。その時には表示画面をドラッグする事により表示位置を変える事が出来ます。またサブ画面が表示されその中の表示枠を移動する事によりメイン画面の表示位置を変える事も出来ます。



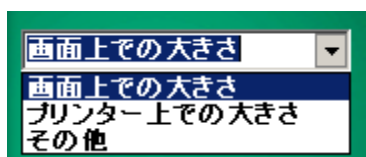
写真の切り取りにチェックを入れると画像の不要な部分をトリミングする作業が出来ます。メイン画面をクリックドラッグする事によりトリミング枠が表示されます。任意のサイズに変更して切り抜きボタンをクリックして下さい。思い通りにトリミングが出来れば実行ボタンでトリミングが決定されます。



表示ファイルの大きさの変更（解像度変更）



表示されているファイルの大きさを変更出来ます。
変更したい大きさの長辺もしくは短辺を入力して
リターンキーを押して下さい。



画像サイズは最終出力の解像度によって変わります。本ソフトでは画面(72DPI)とプリンタ(360DPI)での大きさを入力する事に自動的に出力 Pixel 数を計算します。それ以外の解像度に出力する場合は”その他”を選んで下の解像度欄の数字を任意の解像度に設定して下さい。
決定ボタンでリサイズを実行します。



画像の調整と加工

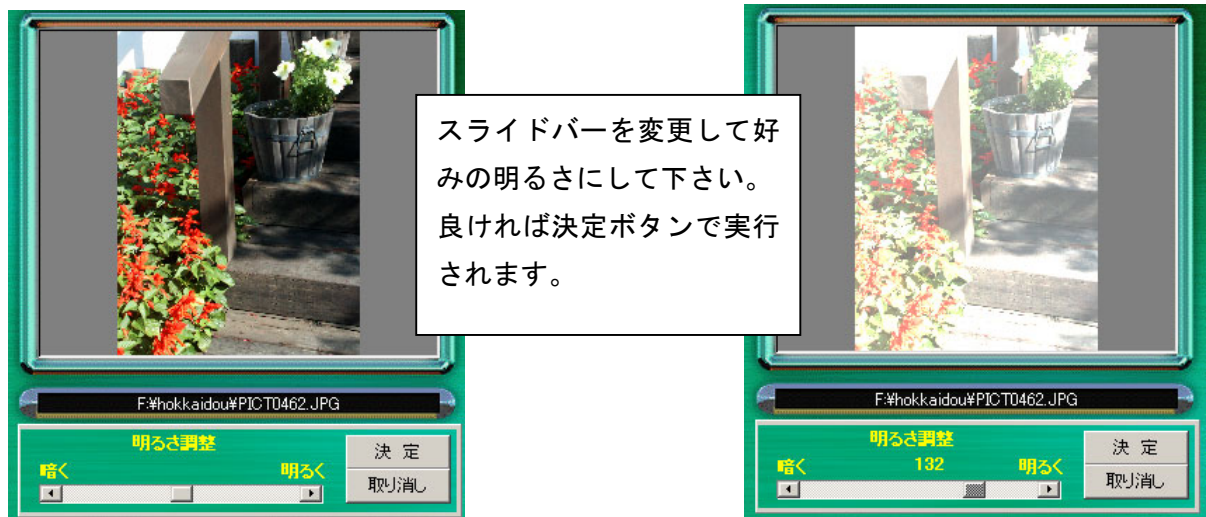


表示されている画像の明るさの調整、コントラストの調整、色の調整、鮮やかさの調整、画像の回転をコントロール出来ます。



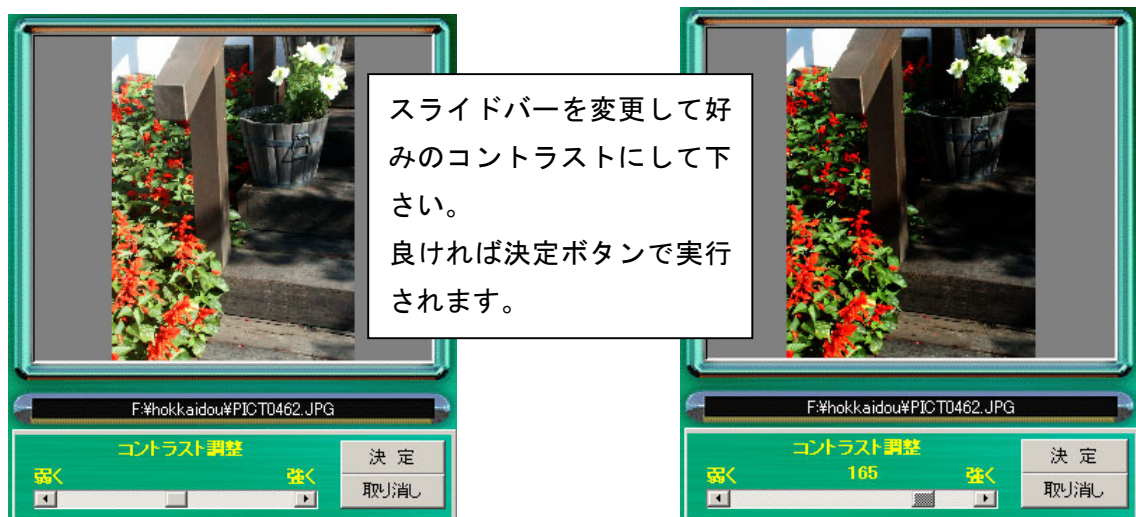
明るさの調整

明るさの調整ボタンをクリックするとメイン画面下に明るさの調整スライドが表示されます。



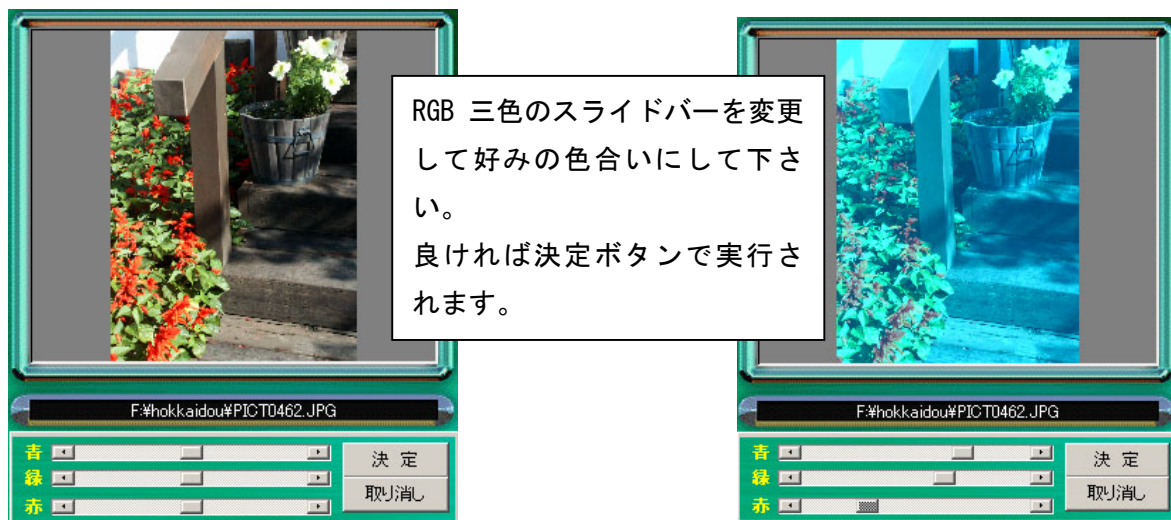
コントラストの調整

コントラストの調整ボタンをクリックするとメイン画面下にコントラストの調整スライドが表示されます。



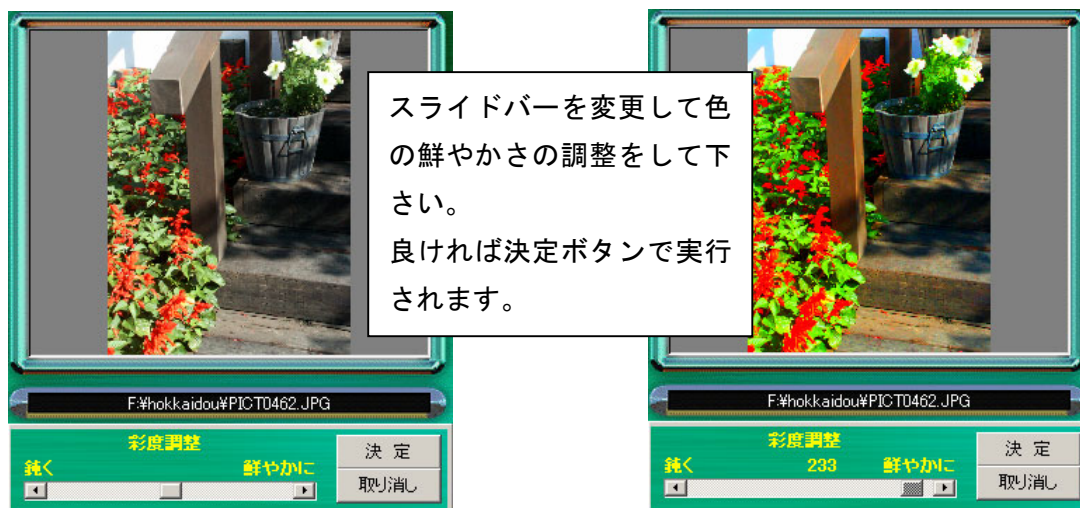
カラーの調整

カラーの調整ボタンをクリックするとメイン画面下にカラーの調整スライドが表示されます。



彩度の調整

彩度の調整ボタンをクリックするとメイン画面下にカラーの調整スライドが表示されます。



画像の各種回転



回転ボタンをクリックすると回転サブボタンが現れます。
任意のボタンで画像を回転して下さい。
結果が違う場合は”取り消しボタン”で元の画像に戻ります。



スライドショーボタン



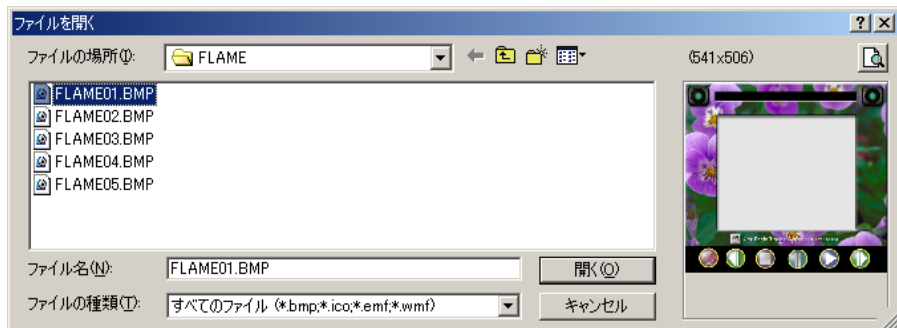
ここでは任意のフォルダーに有る読み取り可能な全てのファイルをスライドショーとして見る事が出来ます。
スライドショーをしたい画像の入っているフォルダーを選びコマ送りの時間を決めて(デフォルトは3秒間隔)スタートをクリックします。
またこのスライドショーでは本プログラムで設定したキャプションやナレーションも反映されます。

メイン画面の下にコントロールボタンが現れスライドショーがスタートします。
スライドを手動で送り戻したい場合は”STOP”ボタンで一旦スライドを止めてから操作して下さい。



スライドフレーム表示

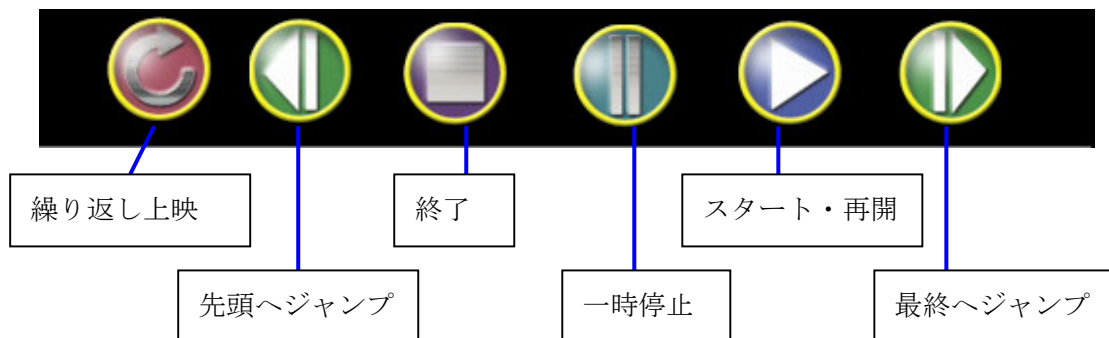
メイン画面以外にも独自のフレーム内にスライドショーを効果的に上演する事が出来ます。”スライドフレーム表示”ボタンを押すと用意されたフレームを選択するダイアログが現れます。



用意されているフレームは5種類あります。



お好みのフレームを選んで下さい。画面が暗転して選んだフレームが表示されます。



アルバム編集

見ているスライドショーの順番を変えたりキャプションやナレーションを付加して本アプリケーションを持っていない方々に配布する事が出来ます。

(注：この機能は後に配布する事を前提に作られている為ファイル形式は JPEG ファイルのみとなっております。)

アルバム編集ボタンをクリックすると編集画面が表示されます。

ファイルの個々の容量が大きい場合現れるまで時間が掛かります。



既存ファイル表示エリア

上のエリアに表示されているのが現在スライドショーされているファイルです。
ファイルを選んで下のエリアの好きな場所にドラッグして下さい。
自由に順番を変更出来ます。

新規ファイル表示エリア



新規ファイル表示エリアの画像をダブルクリックすると個々の画像のキャプションやナレーションを編集する事が出来ます。



音声を編集ボタンをクリックするとサウンドを録音するスイッチが表示されます。

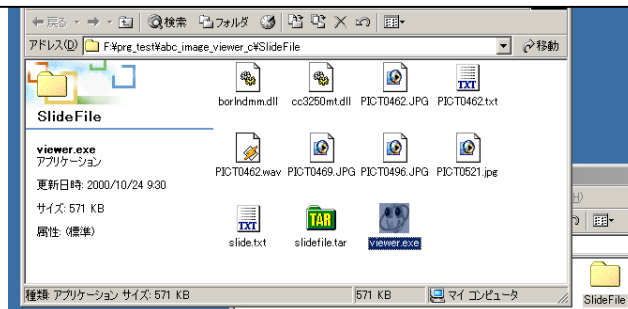
既にサウンドファイルが有る場合は確認する事が出来ます。サウンド編集スイッチを表示した場合は必ず音声保存ボタンをクリックしてサウンドを保存して下さい。

下のテキストエリアにはテキストキャプションを入力出来ます。

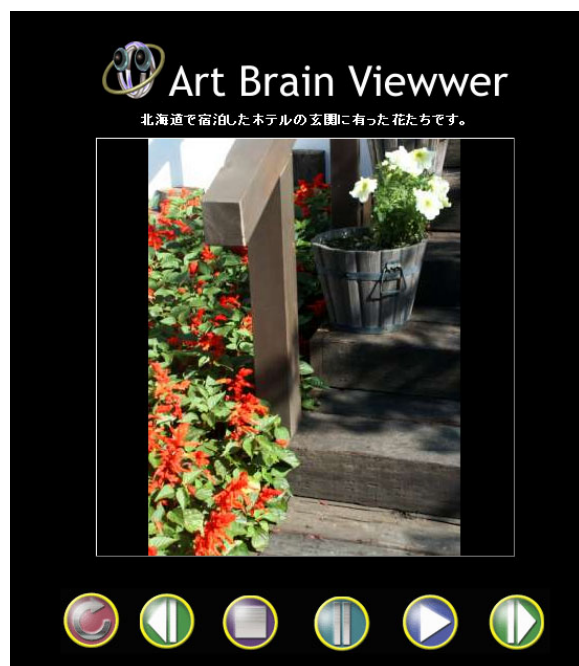
ここで入力したキャプションとナレーションは配布されるスライドショーアプリケーションでの実行時に表示再生されます。



また LZH. DLL がシステムにインストールされていれば LZH 形式の書庫ファイルも作成されています。解凍するには別途解凍ソフトが必要ですがメール添付などを利用しての配布にはお使いいただけると幸いです。



“viewer.exe”をダブルクリックすると先程編集した順番にスライドショーが実行されナレーションやキャプションも表示再生されます。



この“viewer.exe”は配布先ではインストールする必要は有りません。ダブルクリックで実行が可能です。但し音の再生はWindowsのマルチメディアコントロールを利用していますので、もしサウンド再生しないようでしたら再生環境にWindows Media Player がインストールされているか確認下さい。



プリントボタン



メイン画面に表示されている画像をキャプションとプリントアウトします。

おわりに

以上簡単では有りますが本ソフトウェアの説明をお届けしました。

今回の Viewer は見た目にこだわっています。

本ソフト自体のデザインに力点を置いての制作となりました。

バグを含めてデザイン面でもお気づきの点など有りましたら是非お教え願えれば有り難く存じます。

最終調整をした上で7月の最終版でシェアウェアとして発表する予定です。

制作 〒536-0016

大阪市城東区蒲生 4-10-6 アートブレイン

山崎 茂樹

yamasaki@gear.co.jp

デザイン協力

ミューズ

饗庭 明